

# 水稻生育情報 (No.4)

令和4年7月4日  
茨城県農林事務所経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)

## 【生育概況】

本年5月から6月第6半旬までの気象は、平均気温は平年より積算で3.8℃高く、降水量は平年比109%、日照時間は平年比109%となりました。6月の平均気温は、第2～第3半旬は低温、第4～第6半旬は高温で推移し、第6半旬は35℃以上の猛暑日が続きました。

管内の水稻定点圃場の「コシヒカリ」生育状況は、6月30日現在草丈は平年並み～やや低く、茎数は平年並み～やや少なく、葉色はやや淡い～淡くなっています。幼穂長の生育は平年並み～やや進んでいます。生育は概ね平年並みです。5月上旬移植の圃場は中干しを終了し、間断かん水を始めましょう。

表1 水稻定点調査結果 (6月30日現在：コシヒカリ)

調査地点	田植日 (月日)	植付株数 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色		幼穂長 (mm)	出穂予測日 (月日)
					(葉色板)	(SPAD値)		
筑西市	5月5日	61	64	483	3.5	33.1	0.0	—
一本松	(5月3日)	(51)	(67)	(575)	(4.2)	(36.4)	(0.2)	(7月28日)
下妻市	4月30日	48	67	617	4.2	36.2	1.0	7月26日
加養	(5月1日)	(47)	(70)	(589)	(3.9)	(37.3)	(0.9)	(7月25日)
桜川市	5月4日	51	63	543	3.3	33.9	0.4	—
真壁町飯塚	(5月5日)	(52)	(66)	(568)	(4.2)	(37.0)	(0.0)	(7月30日)

※( )内は平成29～令和3年の5カ年平均値

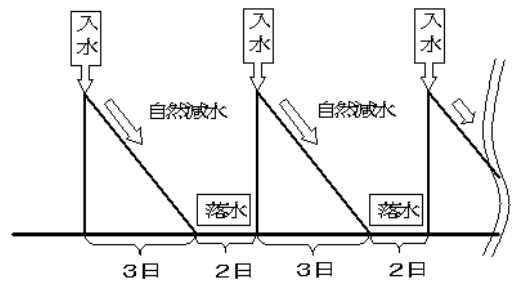
※出穂日は今後の天候により前後する場合があります。

## 【これからの栽培管理のポイント】

### ●中干し後の水管理～間断かん水～

5月上旬移植コシヒカリは7月上旬に幼穂形成期に入りますので、中干しを終えて間断かん水を開始してください。

中干しを行った稲の根は、畑作物の根に似た性質となり、常時湛水で管理すると、根腐れなどが発生してしまいます。間断かん水を行うことで、根腐れ防止や根の活力を維持することができます。右図を参考に間断かん水を行って下さい。入水の目安は、田面を指で触れると湿り気を感じる程度です。



### ●追肥について

「コシヒカリ」の適正な追肥時期は出穂前15日頃です。幼穂長が10mmになった時期が出穂18日前、30mmになった時期が出穂15日前です。

幼穂は生育が中庸な株の主稈を調べます。異なる株から5本程度の幼穂長を計測し平均値をとります。右図を参照に行ってください。

追肥量は窒素成分で1～2kg/10aです。ただし、出穂20日前頃(幼穂長4～6mm)、草丈が80cm以上で葉色(カラスケール)が4以上の時は倒伏の恐れがあるので、追肥は遅らせるか行わないようにしましょう。

### ●斑点米カメムシの耕種的防除

畦畔の除草を出穂2週間前までに完了させましょう。

